



「東日本大震災から10年」  
 「3・11福島を忘れない・繰り返さない長岡集会」に105人

3月11日午後2時46分、東日本大震災が勃発した時刻、全国各地で原発ゼロのアピール行動が取り組まれました。アオーレ長岡側では、柏崎刈羽原発の再稼働を許さない!と、原発ゼロ長岡市民ネットの皆さんが集まりました。黙祷のあと、アピールの紙を掲げながら市内を行進しました。

## 議席の重みを実感!

遠藤議員の一般質問を傍聴しました。新型コロナ対策や柏崎刈羽原発への知事の姿勢を聞き、新年度予算や教育問題、豪雪対策、オリンピック、選択的夫婦別姓制度と多岐にわたる内容で、議席の重みを実感しました。PCR検査の拡充や減収を余

## 遠藤れい子県議の一般質問を傍聴して!

儀なくされている病院の実態調査を求めても知事のガードは固く、原発の技術委員会の不再任問題もかたくなな印象でした。市民と野党の共闘の前進なのか、遠藤県議の登壇には野党席から拍手がありました。嬉しい出来事でした。(田中敏文)

## 米山隆一氏が事務所開き

3月14日、遠藤県議は米山隆一さんの事務所開きに参加しました。



米山さんは衆議院新潟選挙区第5区の野党統一候補として出馬予定です。国民の命と暮らしを守るために力を合わせましょう

## 信条保育園の待機児童問題は解消!市の尽力を歓迎

ひまわりレポート87号で取り上げた遠藤県議と諸橋市議が視察した信条保育園の待機児童問題は市の努力で解消されました。

県予算(案)に対する遠藤れい子の見解(その4)

## 五輪はゼロベースで見直しを。佐渡汽船は島民の生命線!

### 「交流人口の拡大」施策は感染症の下で懸念も

感染症の収束が見込めないもとで、「教育旅行誘致」や「外国人観光客誘致」などの施策には、残念ながら懸念がともなう。新潟空港の「国際線利用促進事業」や「新潟空港旅立ち機運醸成事業」等の展開は、感染症収束まで待つべきである。

「東京オリンピック・パラリンピックを契機とした交流拡大」も、WHOが集団免疫を「2021年中

に(世界全体で)達成することはあり得ない」としていることや、選手団の受け入れを担う自治体(ホストタウン…新潟県内は10市で事前キャンプを誘致)の過重負担を考慮すれば、賛成するわけにはいかない。5カ月後に迫った東京オリンピック・パラリンピックは、ゼロベースで見直すべきである。

### 公共交通ネットワーク「佐渡汽船について」

一時的に債務超過となった佐

渡汽船(株)の経営安定と佐渡航路の安定運航を保証することは、国と県の責務である。にもかかわらず「佐渡航路利用拡大の取組」として「新たな旅行商品の開発」「船内やターミナル等における利便性向上」などの施策にとどまるのは大問題である。

本格的な検討と対策を急がなければ、佐渡金銀山の世界遺産登録に成功したとしてもその後の佐渡の観光振興や、島民の生命線確保の展望が見えてこない。